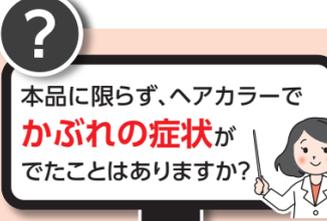




- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。



### 絶対にヘアカラーをしないでください

#### かぶれの典型的な症状

- ① 染毛の半日後くらいからかゆみを感じ、はれ・赤み・ブツブツ等が出始め、染毛の48時間後に最もひどくなる。
- ② 使用のたびにかゆみを感じる。

かぶれの症状が軽かった場合も、**繰り返し使用すると次第に症状が重くなり、まれに重いアレルギー反応\***が突然起こることがあります。  
(※ 全身じんま疹、呼吸困難等)

### NO 毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をしてください

この面の「皮膚アレルギー試験の手順」をよく読んでください。

#### ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の生え際・顔・首筋等に、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツ等の症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかず、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重いアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

### ⚠ 使用上のご注意

#### 1 次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、けん怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

#### 2 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には、右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト薬剤塗布後30分くらいおよび48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪をいためたり、色落ちしたりすることがあります。

#### 3 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、ただちに使用してください。
- ② 換気の良い所で使用してください。

- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋につかないようにしてください。薬剤がついたときは、ただちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗いが目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、ただちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、ただちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

#### 4 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光を避けて保管してください。

#### 他に守っていただきたいこと

- ① 温度が40℃以上になる所に置いたり、火の中に入れてしないでください。
- ② 本品の容器を分解すると使用できなくなります。
- ③ 幼児には使用しないでください。
- ④ 公衆浴場等でのご使用は、ご遠慮ください。
- ⑤ 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁、洗面台、鏡等に付着すると色が落ちませんので、充分ご注意ください。
- ⑥ パーマントウェーブをかけた髪にヘアカラーをすると、ウェーブが緩むことがありますので、ご注意ください。
- ⑦ 容器から出した薬剤は、取り置きできません。必ず洗い流して捨ててください。
- ⑧ 使い切ってから、市町村等で定められた方法により廃棄してください。

### 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

毎回必ず、染める2日前(48時間前)にパッチテストをしてください。

#### 1 次のものを準備します

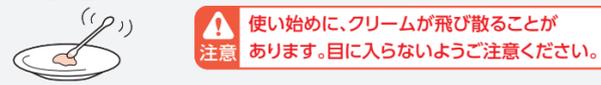


#### 2 パッチテスト用の混合クリームをつくります

- ① クリームを小皿等に出します。



- ② 綿棒で混ぜ合わせます。



#### 3 腕の内側にぬって48時間放置します

- ① 混合クリームを、綿棒で腕の内側に10円硬貨大にうすくぬります。



- ② 自然に乾燥させ、そのまま触れずに48時間放置します。  
※ 時間を必ず守ってください。

- ぬった部分が30分くらいしても乾かない場合は、ティッシュペーパー等で軽くふき取ってください。
  - ※ボトルのノズル部を洗浄してください(裏面参照)。
  - 混合クリームをぬった所は絆創膏等で覆わないでください。
  - パッチテスト中は、入浴やシャワーをひかえてください。
- 正確な結果を得るためには、48時間のパッチテスト中に、テスト部位をぬらしたり、こすったり、シールを貼ったりしないことが必要です。やむなくシャワー等する場合は、テスト部位をぬらさないようにご注意ください。

#### 4 30分後と48時間後の2回、テスト部位を観察します

塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等、皮膚の異常があった場合には、手等でこすらないでただちに洗い落とし、ヘアカラーはしないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、ただちにテストを中止し、混合クリームを洗い落としてヘアカラーはしないでください。

#### 5 48時間経過後、異常がなければヘアカラーをしてください

※異常があった場合は皮膚科医の診療を受けてください。  
また、製品についてはお客様相談室までご連絡ください。  
※パッチテストの汚れが残っても、通常の入浴によって、自然に落ちます。

### ご使用前の準備

暑い時期は、ボトルを室温20~30℃の場所に1時間以上置いてください。

ボトルが温まると、2色のクリームが均等に出ず、染まりが悪くなる場合があります。



- 寒い所では染まりにくいので、室温20~30℃の場所でお使いください。
- 乾いた髪に使用し、染毛中の入浴は避けてください。

●シャンプーは、染める前日までに済ませてください。  
髪の汚れがひどいとき、整髪料を多めに使用しているとき、一時着色料や金属粉等が髪についているときは、充分に洗い流してください。

[やむをえず、染める当日にシャンプーする場合]

- 地肌を傷つけないように、ていねいに洗ってください。
- 髪をよく乾かしてください。髪がぬれていると、薬剤がたれたり、染まりが悪くなる場合があります。

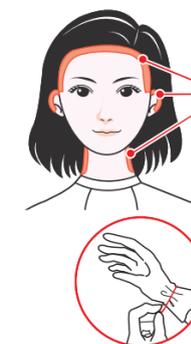
#### 1 必要なものをそろえます



#### ご自分で用意するもの

- 化粧ケープカタオル ●汚れてもかまわないタオル ●新聞紙等の敷物
- ティッシュペーパー等 ●水をはじく油性クリーム ●鏡
- 輪ゴム2本(手袋用) ●シャンプー・コンディショナー等 ●時計

#### 2 汚れ対策をします



- ① 汚れてもかまわない前あきの衣服を着てください。
- ② 化粧ケープカタオルで衣服をガードします。
- ③ 水をはじく油性クリームを、生え際、耳のまわり、えりあしにぬります。薬剤が皮膚についても落としやすくなります。  
※油性クリームが髪につくと染毛効果が弱くなります。
- ④ メガネ、コンタクトレンズ、アクセサリ等はずします。
- ⑤ 新聞紙等を、床や洗面台等に敷いてください。
- ⑥ 必ず手袋をして、輪ゴムでとめます。

#### 皮膚が着色した場合

- 強くこすると炎症や傷の原因になりますので、ご注意ください。
- 汚れた部分にメイク落としをなじませ、しばらくの間、軽くマッサージをします。次に、蒸したタオルをあてた後、石けんで洗い流します。石けんをタオルにつけて軽くこするのも効果的です。
- 汚れが残っても、洗髪や入浴によって、数日程度で自然に落ちます。

#### より詳しい情報はこちら

- ヘアカラーによるかぶれの情報
- かぶれた方への代わりの商品紹介

ホーユー パッチテスト 検索  
www.hoyu.co.jp/startup/patch\_test.html



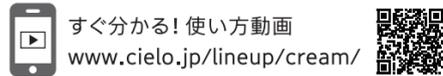
商品に関するお問い合わせ・ご相談はこちら

お客様相談室  
0120-416-229

土・日・祝日及び弊社休業日を除く  
午前9時~午後5時

## ご使用の手順

ご使用前に必ず**反対の面**もお読みください。



ショートヘア(髪全体)約1回分 ※全量で約15回  
ブラシに出せます。

**注意** ●クリームが目に入らないようご注意ください。 ●染める2日前(48時間前)に毎回必ず、皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。  
●寒い所では染まりにくいので、室温20~30℃の場所でお使いください。 ●使い始め等に黒いクリームが出る場合がありますが、仕上がりに影響ありません。

### ご使用前の注意

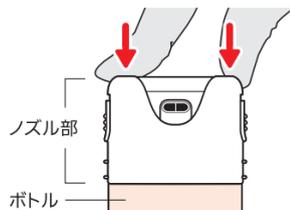


暑い時期は、ボトルを  
**室温20~30℃**の場所に  
1時間以上置いてください。

ボトルが温まると、2色のクリームが均等に  
出ず、染まりが悪くなる場合があります。

## 1 クリームをブラシに出します

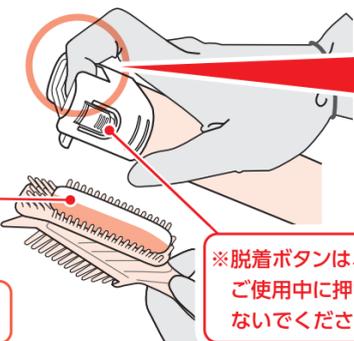
ノズル部を押し込み、ボトルに  
はまっているか確認します。



クリームを、  
**ブラシと平行に出します。**

※黄色と白色のクリームが均等に  
出ることを確認してください。

**注意** 使い始めに、クリームが飛び散ることが  
あります。目に入らないようご注意ください。



**重要** **プッシュレバーを  
しっかり押ししてください。**

**止まる所** まで押す

押す力が弱いと、  
2色のクリームが均等に  
出ず、染まりが悪くなります。

※脱着ボタンは、  
ご使用中に押さ  
ないでください。

### クリームが1色しか出ないときは...

①ノズル部をはずして、つけ直します。  
(両側の脱着ボタンを押すとはずれて、  
はまる時はカチッと鳴ります。)

②ボトルを平らな場所に立て、  
レバーを**強く**押しします。  
※ボトルの転倒にご注意ください。

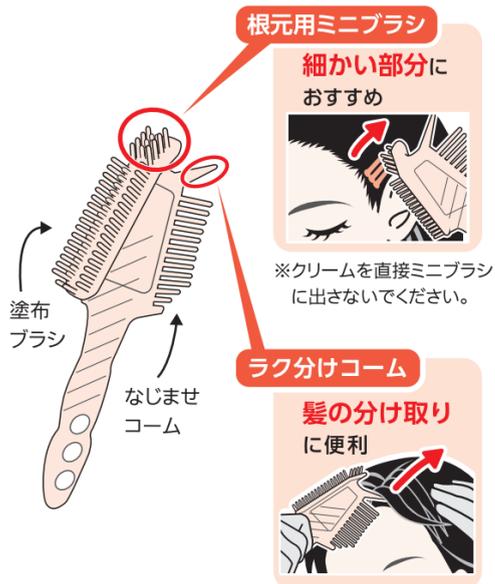
それでも1色しか出ない場合は、  
ご使用をおやめください。  
1色のクリームだけでは染まりません。



## 2 乾いた髪にクリームをぬります

**注意** ●クリームの飛び散りにご注意ください。 ●クリームが肌についたときは、水でしめらせたティッシュペーパー等ですぐにふき取ってください。時間がたつと、色が落ちにくくなります。  
●クリームがなるべく地肌につかないようにしてください。 ●専用クシで地肌や髪をいためないようにしてください。 ●混合クリームの色は徐々に変わり、仕上がりの色とは異なります。

### 専用クシ 各パーツの使い方



### 髪全体

ぬる時間 **10分** ※早くぬり終えた方も10分たつまでお待ちください。

**1** 白髪が目立つ部分から、根元に**たっぷり**ぬり、毛先までのばします。



**2** コームで髪全体をとかし、均一になじませます。



放置時間 **15分**

**3** 放置します。

●太くて硬い髪の方、白髪の多い方は、  
**5分ほど長く**放置してください。  
※長く放置しすぎないでください。  
髪が希望の色にならなったり、  
髪や地肌をいためるおそれがあります。  
●クリームが肌についていないか  
確認してください。

### 伸びた部分

ぬる時間 **10分** ※早くぬり終えた方も10分たつまでお待ちください。

**1** 新しく伸びた部分にクリームを  
**たっぷり**ぬり、よくなじませます。

**注意** 毛先は、後で(右の手順**3**)でぬってください。  
最初にぬると、染め重なって暗い色になります。

放置時間 **10分**

**2** 放置します。

さらに **5分** 放置

**3** 根元のクリームをコームで  
毛先に向かってのばし、放置します。

## 3 洗い流します

よくすすぎ、シャンプーを2回しっかりします。  
コンディショナー等で仕上げ、よく乾かします。  
※汚れてもかわまないタオルでふいてください。

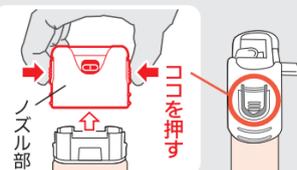
**注意** ●すすぎ湯が目に入らないようご注意ください。  
●すすぎ湯が壁や浴槽等につくと汚れる場合があり  
ます。最後に軽く流すことをおすすめします。

残ったクリームは、  
次回も使えます。

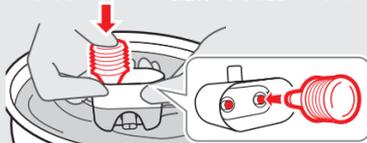
**注意** ノズル部を  
洗浄してください。  
しっかり洗わないと、次回、  
クリームが詰まって飛び散る  
おそれがあります。

### ノズル部の洗浄方法

①ノズル部をはずします  
両側の脱着ボタンを押しながら、  
上へ引っぱります。



②洗浄します  
ノズル部をぬるま湯にしずめて、付属の  
洗浄用スポイトを裏側の穴に差し込みます。  
スポイトを押して2箇所を洗います。



③乾燥させます

**注意** 新聞紙等の上に置いて  
乾かしてください。  
ノズル部やスポイトに付着した水で、  
洗面台を汚すおそれがあります。

④ノズル部を上から押し込み、  
ボトルにはめます  
(カチッと鳴るまで押します)

●きちんとはめないと、2色のクリーム  
が均等に出なくなります。  
●プッシュレバーを押さないようご注意ください。  
●保護キャップをはめ、高温の場所を避けて保管してください。  
●専用クシ・スポイト・手袋は、洗浄・保管してください。



### 使用後のご注意

●次のような場合は、衣類、帽子、枕カバー等に  
色移りすることがありますので、ご注意ください。  
○髪がぬれているとき  
(汗をかき、雨にぬれる、洗髪後等)。  
○整髪料や育毛剤等を多量に使用したとき。  
○ヘアカラー後のすすぎ等が不充分なとき。  
●再度ヘアカラー(ヘアマニキュアを除く)を  
使用する場合は、髪や地肌への負担を考え、  
1週間くらいの間隔をおいてください。

手袋はここからはがしてください。